

平成23年度  
6月補正予算(案)のポイント

平成23年6月9日



静岡市



# 平成23年度6月補正予算(案)のポイント

## 1 予算(案)の規模

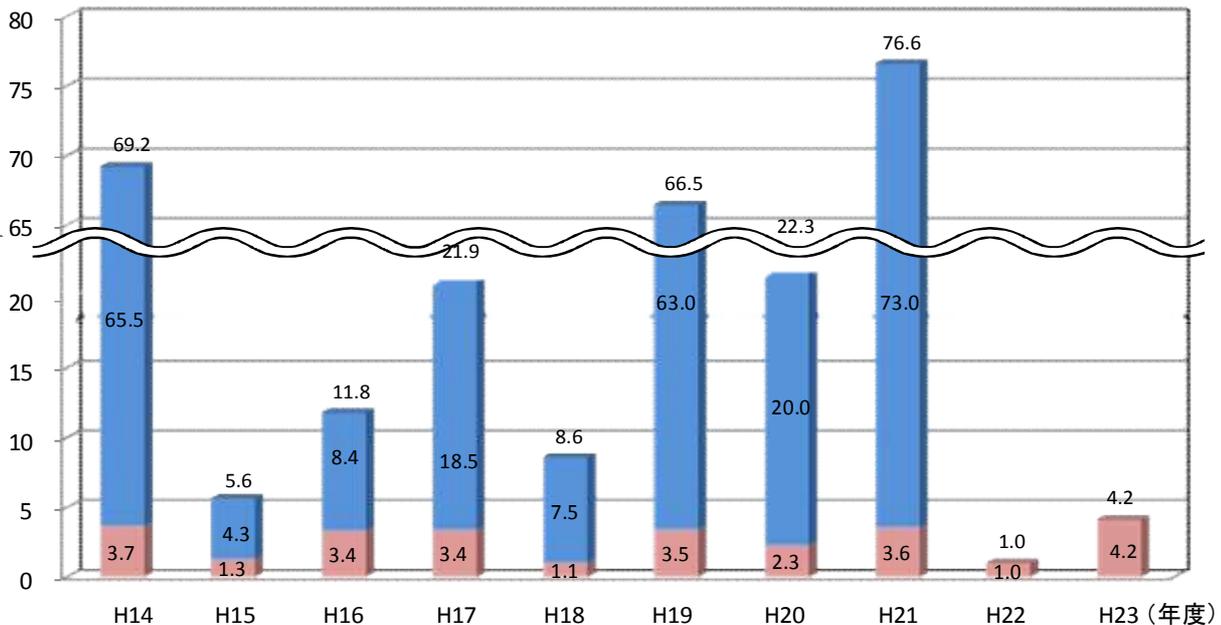
- ★補正予算の規模は、一般会計が約4億2千万円の増額で、前年度と比較すると約3億2千万円の増加。
- ★今回の補正予算は、東日本大震災に対応した「防災対策」、「被災者支援」、浜岡原発の全面停止に伴う「省エネ対策・新エネルギー導入促進」のほか、「雇用・経済対策」、「高齢者福祉・子育て支援」等の経費を計上。

(単位:千円)

区分	平成23年度 6月補正予算額	平成22年度 6月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	419,098	99,640	319,458	320.6
特別会計	—	—	—	—
企業会計	—	—	—	—
合計	419,098	99,640	319,458	320.6

(単位:億円)

6月補正予算額の推移(一般会計)



■ は、国庫補助事業の認証等、合併準備、経済危機対策、災害復旧、市税払戻の経費。■ は、左記以外。

※平成20年度以前は、合併前の各団体の数値を合算したものである。

## 2 予算(案)の財源

- ★特定財源としては、主に、緊急雇用対策事業に伴う県支出金や訪問看護支援事業に係る国庫支出金を活用。
- ★一般財源としては、平成22年度の決算剰余金(繰越金)を財源とした。

### 3 主要事業のポイント

#### (A) 震災対応

218,951 千円

#### ① 防災対策

183,345 千円

★東海地震等によって生じる津波から人的被害を軽減するため、市内沿岸地域における津波避難ビル標識整備等の緊急津波対策を実施するとともに、防災機能を強化するため、自主防災組織及び災害ボランティアセンターにおける防災資機材の充実等を図る。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 緊急津波対策事業	<p><b>(1)「津波避難ビル標識」の整備</b> (津波避難ビルの周知のため、見やすく、わかりやすい標識板等を整備)</p> <p>①「津波避難ビル標識板」の整備 ・旧型標識板を国際規格対応型へ更新(50基) ・1棟あたり1基から2基設置へ増設(70基) ・新規指定避難ビル(20か所程度)へ新設(40基) ※現状:避難ビル57か所70棟、標識板70基設置</p> <p>②「津波避難ビル誘導板」の新設(180基)</p> <p>③「津波避難ビル案内板(地図)」の新設(53基)</p> <hr/> <p><b>(2)「海拔表示標識」等の整備</b> (地域の海拔情報及び津波の危険性を周知するため、見やすく、わかりやすい標識板を整備)</p> <p>①道路標識・電柱・コンビニエンスストア等に新設(3,000か所程度)</p> <p>②「津波警告標識板」の更新に合わせて「海拔表示」を追加(40基)</p> <p>③「避難地標識板」に「海拔表示」を追加(51基)</p> <p>④「避難地案内板」に「海拔表示」を追加(37基)</p> <hr/> <p><b>(3)「同報無線子局」の整備</b> (沿岸地域の「同報無線子局」の増設及び更新)</p> <p>①増設5か所</p> <p>②更新30か所</p> <hr/> <p><b>(4)津波啓発事業の実施</b> (津波防災の意識の高揚)</p> <p>①講演会の開催</p> <p>②津波避難マップ、ハザードマップの印刷</p> <hr/> <p><b>(5)「緊急津波対策室」事務費</b> (緊急津波対策事業を迅速に実施するため、6月1日に設置した「緊急津波対策室」の事務費)</p>	148,000

## 津波避難ビル標識板等の設置イメージ

津波避難ビルの指定及び標識板等の設置範囲は、5月21日に津波避難訓練を実施した連合自治会・町内会のエリアで、訓練の検証の結果、必要とされた場所とする。



「津波避難ビル標識板」の例

※国際規格の図記号に統一し、4か国語表示、海拔表示をする。



「津波警告標識板」の例



「津波避難ビル誘導板」の例



既存の「海拔表示標識」の例

(単位:千円)

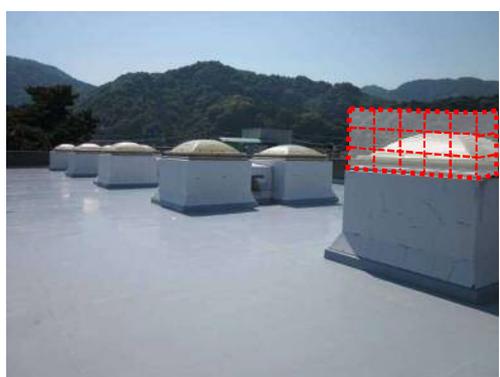
事業名		主な概要	金額
2	防災倉庫等設置費助成	一層の地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対する防災資機材購入費等の助成を拡大 (発電機、リヤカー、車椅子等)	15,000
3	市民活動促進事業	災害時の円滑かつ効果的な災害ボランティアの活動を促進するため、災害ボランティアセンター(3か所)で使用する防災資機材の拡充 (テント、仮設トイレ、発電機等)	6,500
4	市立保育所管理事業	乳幼児を預かる保育施設の災害発生時における安全確保 ・避難車(乳母車)の設置 ・情報収集のためのテレビの設置 ・用宗保育園の屋上外柵設置	10,065
5	老人福祉センター運営事業	津波避難ビルである用宗老人福祉センター屋上の排煙窓に落下防止フェンスを設置	3,780



防災資機材の例



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の様子



設置イメージ

用宗老人福祉センター屋上の排煙窓にフェンスの設置



避難車(乳母車)の例

② 被災者支援

25,606 千円

★東日本大震災の被災者へ提供した備蓄食糧等を補充するとともに、被災者を雇用する市内事業主を支援し、東日本大震災の被災者の就労を促進。

(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
1	防災必需品備蓄事業 (財源: 県補助金1/3)	東日本大震災の被災者に対する物資支援により補充が必要となった備蓄食糧等の購入 (カンパン、アルファ化米、毛布、ブルーシート)	20,806
2	震災被災者雇用奨励事業	被災者を雇用した事業主に対し、奨励金を支給 ・1人につき月額16,000円を12か月間	4,800



被災地への緊急支援物資搬送

③ 復興祈念

10,000 千円

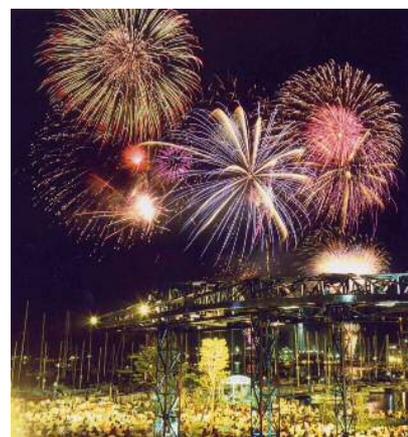
★被災地の復興を祈念するとともに、地域経済の活性化を図るため、花火大会を支援。

(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
1	安倍川花火大会開催費助成	東日本大震災の被災地の復興を祈念するとともに、地域経済の活性化を図るため、花火の打ち上げ経費を助成	6,000
2	みなと祭り開催費助成		4,000



安倍川花火大会



清水みなと祭り

(B) 省エネ対策・新エネルギー導入促進

86,584 千円

★浜岡原発の全面停止を受け、電力不足が懸念されるなか、市民・民間事業者・行政が一体となった、さらなる省エネ・節電対策の実施や新エネルギーの導入促進を図る「しずおか省エネ大作戦」を展開。

① 庁舎等施設の省エネ・節電対策

32,943 千円

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 庁舎改修事業	静岡庁舎の修繕ほか ・静岡庁舎新館蛍光灯機器更新 ・省エネタップ付きコンセント導入 ・静岡庁舎外灯更新(LED)	15,000
2 東海道広重美術館管理運営事業	東海道広重美術館の修繕 ・照明器具取替(LED、高効率蛍光灯)	6,000
3 清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	清水ナショナルトレーニングセンターの修繕 ・窓ガラスへの太陽光遮熱材施工	6,000
4 静岡科学館管理運営事業	静岡科学館の修繕 ・窓ガラスへの太陽光遮熱材施工	5,300
5 市有施設電力使用量ピークカット促進事業	夏期の電力使用量ピークを抑制するための監視装置の設置 ・電力デマンド監視システム導入(10か所)	643



(高効率蛍光灯)



(LED)

省エネルギータイプの蛍光灯やLEDへの更新事例



静岡科学館(る・く・る)の窓ガラスへの太陽光遮熱材施工

② 市民・民間事業者への補助

49,870 千円

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 住宅用太陽光発電システム設置費助成	住宅用太陽光発電システム設置に対する助成件数の拡大 ・720件	38,000
2 たてものまるごと省エネ化促進事業費助成(財源:繰入金)	一般住宅用省エネルギー、新エネルギー設備の設置に対する助成件数の拡大 ・72件	8,370
3 緑化奨励事業費助成	屋上及び壁面の緑化に対する助成件数の拡大 ・各5件	3,500



住宅用太陽光発電システム



屋上緑化

③ 市民への啓発

3,771 千円

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 省エネキャンペーン実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け省エネ啓発キャンペーン 7月中旬～下旬、市内3か所でのイベント開催(省エネ効果体感、省エネ相談会等)</li> <li>・LED電球普及促進キャンペーン エネルギー消費量比較コーナーの設置、ポスター掲示等</li> </ul>	3,771



省エネ啓発キャンペーン

(C) 雇用・経済対策

76,777 千円 (うち再掲 14,800千円)

- ★厳しい社会・経済情勢の下、一人でも多くの若年者が正規社員として就職できるよう、職場体験型の教育支援を実施。
- ★被災者を雇用する市内事業主を支援し、東日本大震災の被災者の就労を促進。
- ★「ものづくり産業振興条例」の施行に伴い、審議会を設置し、基本計画を策定。
- ★被災地の復興を祈念するとともに、地域経済の活性化を図るため、花火大会を支援。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 若年労働者雇用対策事業 (財源: 県補助金10/10)	講義や職業体験を通じて、ビジネスに必要なマナーや表現の方法、思考スキル、ITスキル等を身につける ・高校卒又は大学等の既卒3年を経過した方で概ね34歳までの就職意欲のある未就職者 30人	53,358
2 【再掲】 震災被災者雇用奨励事業	被災者を雇用した事業主に対し、奨励金を支給 ・1人につき月額16,000円を12か月間	4,800
3 ものづくり産業振興推進事業	学識経験者、ものづくり事業者等で構成するものづくり産業振興審議会を設置し、振興に関する施策についての基本計画を策定	8,619
4 【再掲】 安倍川花火大会開催費助成	東日本大震災の被災地の復興を祈念するとともに、地域経済の活性化を図るため、花火の打ち上げ経費を助成	6,000
5 【再掲】 みなと祭り開催費助成		4,000



就職面接会



セミナーの開催

(D) 高齢者福祉・子育て支援

33,262 千円

① 高齢者福祉

21,054 千円

★行政、市民、民間企業、福祉サービス事業者等との連携による徘徊認知症高齢者の見守りネットワークの構築や高齢者を地域で支え合う自治会組織の立ち上げを支援。

★民間訪問看護ステーション業務の効率化・ネットワーク化を行い、訪問看護サービスを安定的に提供する体制を整備する。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 徘徊認知症高齢者見守りネットワーク構築事業 (財源: 県補助金10/10)	徘徊認知症高齢者が行方不明となった場合、情報を提供し早期発見につなげるメール配信システムを整備することにより、関係機関等との見守りネットワークを構築する事業	5,000
2 高齢者地域支え合い体制づくり助成 (財源: 県補助金10/10)	地域における日常的な支え合い活動に必要な体制づくりに対する補助金 (活動内容) ・組織の立ち上げ、活動拠点の整備 ・体制を支える人材の育成	2,054
3 訪問看護支援事業 (財源: 国補助金10/10)	民間訪問看護ステーション業務の支援 ・訪問看護推進協議会の設置・運営 ・訪問看護支援システム導入事業 ・請求事務一元化の支援 ・コールセンター設置事業	14,000

② 子育て支援

12,208 千円

★保護者や地域住民等に対して乳幼児突然死症候群(SIDS)及び児童への応急処置等の講習会を開催するとともに、普及啓発の一環として各保育園に乳幼児呼吸モニターを設置。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 施設入所児童等への特別支援事業 (財源: 県補助金10/10)	児童福祉施設等が、子ども手当の支給対象とならない入所児童等に対し特別の支援(物品の購入、貯蓄等)を実施する場合、子ども手当相当額を助成	5,060
2 市立保育所施設整備事業 (財源: 県補助金10/10)	乳幼児の突然死及び児童への応急処置等についての講習会を実施し、乳幼児呼吸モニターを各園に設置 ・市立保育所 44園 ・私立保育所 17園	4,462
3 私立保育所施設整備費助成 (財源: 県補助金10/10)		2,686



徘徊認知症高齢者の相談窓口となる  
地域包括支援センター



乳幼児呼吸モニター使用状況

(E) まちみがき戦略の策定

5,500 千円

★市長マニフェストを踏まえ、「市民意見等の聴取」、「まちみがき講演会の開催」等により、第2次総合計画第3期実施計画の指針となる「市長まちみがき戦略」を策定するとともに、第2次総合計画書の改訂版を作成。

(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
1	総合計画推進事業	・第2次静岡市総合計画書(改訂版)の増刷 ・市長まちみがき戦略の策定 (まちみがき講演会の開催、まちみがき戦略冊子の作成)	5,500